

# 紫明の窓

発行：京都鞍馬口医療センター

編集：広報委員会

2018年8月 第6号



独立行政法人地域医療機能推進機構  
京都鞍馬口医療センター

〒603-8151 京都市北区小山下総町27番地  
TEL 075(441)6101代表 FAX 075(432)0825  
URL <http://kyoto.jcho.go.jp>

## ごあいさつ

京都鞍馬口医療センター  
副院長 村頭 智



平成30年4月1日付けで京都鞍馬口医療センター副院長に就任しました村頭智（むらかみさとし）と申します。私は昭和61年4月からの2年間と、平成2年4月から今日までの28年間、合計30年間をずっと当院で仕事をしてきました。そのため、この病院に対する愛着は他の人に負けないと自負しております。

さて、当院の使命は「地域医療・地域包括ケアの要として、地域住民のニーズに応え生活を支える」こととあります。具体的には、①地域住民の皆様安心してできる丁寧な医療を提供する、②近隣の開業の先生からの検査や診察、入院加療の依頼を積極的に受け入れる、③在宅医療を受けておられる方々を訪問看護等でお支えし、必要な時には入院をお受けする、などを実践しています。近年、入院しておられる患者様を拝見しましても超高齢化社会が到来していることをひしひしと感じています。地域の皆様と積極的にかかわっていくことで当院の役割を果たしていきたいと考えています。

今後とも、何とぞよろしくお願いいたします。



# 医師紹介

第六回は、  
半田修先生を紹介します。



私は2018年3月まで京都府立医科大学消化器内科で講師をしておりました。

2018年4月より、JCHO京都鞍馬口医療センター消化器内科部長・内視鏡センター長として、赴任しました。これまでに康生会武田病院、洛和会音羽病院、京都府立医科大学附属北部医療センターでの勤務経験がありますが、研究に比重を置いてキャリアを積んできたため、どっぷりの臨床は久しぶりで、身の引き締まる思いです。

私の専門はピロリ菌と小腸です。

ピロリ菌に関しては基礎研究だけではなく、臨床にも力を入れてきました。ペニシリンアレルギー症例に対する除菌や、3次除菌、腎機能障害を有する症例や、除菌自体が難しい症例に対する相談など様々な症例に積極的に関わってきました。胃癌撲滅の観点からは、上部消化管内視鏡検査による早期発見だけではなく、全国に先駆けて若年者に対する対策

を開始しています。具体的には2015年から京都府の高校に通う高校一年生を対象として（希望高校の希望者のみですが）、無料でピロリの検査をおこない、ピロリ感染陽性で希望者には無料で除菌をおこなうというプロジェクトです。当初3校のみが希望されておりましたが、2018年は30校が参加予定ですが、京都府下には104校あり、2020年にはなんとか全高校が参加していただくことにより京都府から胃癌を撲滅できないかと思つて各方面から働きかけています。

小腸に関してはカプセル型小腸内視鏡、ダブルバルーン式小腸内視鏡で様々な小腸疾患にアプローチしてきました。NSAID起因性小腸粘膜傷害に関しては基礎研究だけではなく、臨床研究で消化器系の最高峰の英文誌であるGastroenterologyに論文発表しています。当院でも、いずれ小腸内視鏡を導入し、地域の皆様のお役に立てればと考えています。

当院の消化器内科は腕の立つメンバーで構成されています。私自身、色々教え

てもらいながらも、それぞれのメンバーが最高のパフォーマンスを発揮できるようなマネジメントを心がけています。地域の先生がたに安心して患者さんをお任せいただけるような質の高い医療をご提供できればと思つています。また、それだけではない「オンリーワン」を目指したいと思つています。

これからもメンバーの総力を挙げて頑張つて参ります。ご指導ご鞭撻のほどを賜りましたら幸いに存じます。



消化器内科の  
スタッフです。

～ 医院紹介 ～

# 中村内科クリニック



内科・消化器内科・循環器内科  
**中村内科クリニック**

私は、平成15年から約6年間京都鞍馬口医療センターに勤務させていただき、病院勤務中は消化器内科、内科診療、健診業務を中心に行っていました。在職中から現在に至るまで、病院の先生方やスタッフの皆さまには大変お世話になり、感謝しております。

当院は、昭和25年に祖父が福山医院として開設し、60年以上にわたり、地域のみなさまの診療をさせていただきます。平成26年11月より父からの継承を機に、中村内科クリニックと名称変更しました。リニューアル後には、夫のバックアップにより、週1回の循環器外来を設け、循環器領域もより専門的なアプローチができるようになりました。

当院では、血液検査、心電図、レントゲン写真、超音波検査（頸動脈、心臓、腹部）、上部消化管内視鏡検査（経鼻、経口）、24時間ホルター心電図、A B I検査などの検査が可能です。リニューアルに伴い、医院名や建物は変わってしまいましたが、祖父から受け継いだ魂はそのままに、これからも、地域のかかりつけ医としてより身近に、末永く親しんで頂けるクリニックを目指します。北区の基幹病院である京都鞍馬口医療センターには今後も大変お世話になるかとは存じますが、何卒、宜しくお願ひ申し上げます。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診 9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/
午後診 17:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/

## 地域医療 連携室より



### 鞍馬口カンファレンスのご案内

地域の医療機関との連携により医療知識・医療技術の向上及び地域の先生方との連携を深めることを目的に企画致しました。  
次回は**平成30年8月23日（木）19時00分～京都ガーデンパレス**にて開催いたします。

特別講演に京都府立医科大学附属病院・神経内科・水野敏樹教授をお招きして講演していただきます。  
皆様のお越しをお待ちしております。

### 検査予約のご案内

各種検査（左記）のご予約は地域医療連携室に電話予約のうえ、検査項目日時を紹介元医療機関でご記入いただきその場で直ぐに予約票を患者様にお渡ししたくものです。

診療情報提供書も兼ねており、別で新たに作成いただく手間も省けますし、複写の3枚目が予約票となっておりますので患者様をお待たせしません。是非ご活用下さい。地域医療連携室へお電話いただきましたらお送りいたします。

**予約可能検査**：CT/MRI/マンモグラフィ/単純X線撮影/  
骨塩定量（骨密度）/超音波（腹部・体表・乳腺・頸動脈・下肢静脈）

・右記以外の検査及び外来予約は従来の「紹介患者様事前受付票」で承ります。



# 地域包括ケア



平成28年3月に一般病棟を地域包括ケア病棟に変換し、3年目となりました。

急性期医療を経過した患者様及び在宅において療養を行っている患者様の受入れ並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病棟として、日々看護をしています。



現状として、院内他病棟から入棟される方が多い現状ですが、長期連休中や介護者の事情によるレスパイト入院も受け入れております。今後、地域のケアマネージャーからの依頼での直接入院も受け入れていきたいと考えておりますので、いつでもご相談ください。



## 新入職 医師紹介



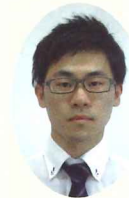
- ①経歴
- ②専門分野
- ③趣味



**河野 靖生**  
麻酔科部長

- ①久留米大学医学部
- ②麻酔全般③娘が弾くピアノを聴くこと。

(平成30年6月1日付)



**出射 功一**  
整形外科レジデント

- ①兵庫医科大学②整形外科

(平成30年7月1日付)

## 次回予告

### 第58回市民公開講座

平成30年9月9日(日)を予定しております。

担当/整形外科医師、理学療法士

## 紫明の窓

～タイトルの由来～

この病院の北の窓からは紫明通りが見渡せ、四季折々の彩りを楽しませてくれます。

南の窓からは京都タワーと伏見桃山城のパノラマが一望出来、入院患者様にはとても評判です。

風光明媚なこの地で病院職員と病院を訪れる全ての皆さまとの心と体の癒しを育む安らぎの懸け橋(窓口)となるようにと願いを込めたタイトルです。

